



日本共産党市会議員

# 野口あけみ

活動だより

自宅 今津野田町

4-18

0798(34)7329

控室

0798(35)3368

2015.6 月

(No.109)

西宮市は、平成27年度の国民健康保険料の保険料率を昨年と同じに「すえおく」ことを決定し、6月中旬、被保険者（加入者）に通知します。

日本共産党市会議員団は、高すぎる保険料を引き下げるために、一般会計からの繰り入れなどを一貫して求めてきました。

今年度は7億円の繰り入れを実現させましたが、昨年並みに10億円を繰り入れていけば、「すえおき」ではなく、「引き下げ」（単純計算でも1世帯4,600円）が可能でした。

また、ここ数年、国保会計は黒字が続いており、こ

## 二七年度・国民健康保険料

# 保険料率は「すえおき」

れらを積み立てた基金も23億円を超えています。

まだまだ高い国保料。党議員団は、6月議会の一般質問で庄本けんじ議員がこ

の問題をとりあげ、基金の活用や繰り入れの増額等で「引き下げ」を求めます。



## “戦争法案反対” アクタ前で宣伝



「集団的自衛権の行使」も、「武力行使と一体不可分の『後方支援』＝平たん」も憲法9条違反！即時廃案しかありません。

13日午前中2時間の宣伝で、「戦争法案反対」の署名は120筆余、集まりました。

# 学童保育 4年生の受け入れ

## 鳴尾小、西宮浜小で8月モデル実施へ

安心して働き続けるために、保護者から希望の多い4年生以上の学童保育事業の実施を求めてきましたが、このほど、鳴尾育成センターと西宮浜育成センターで、夏休みのうち8月のみ、モデル実施されます。

市は、状況を見て実施センターや期間を「拡充していきたい」としています。



児童福祉法の改正で、学童保育（留守家庭児童育成センター）の対象年齢が、3年生以下から6年生までになりましたが、実施はあくまで任意。私は、昨年6月議会で、「せめて4年生を対象に、条件のあるセンターからモデル実施してはどうか」と提案していました。12月議会でも同趣旨で質問。当局は、「新年度に、施設に余裕のある所で、男女別トイレなどの設備改修を行い、まずは、一番ニーズの高い4年生を対象に、夏休みなどの長期休業中のモデル実施

を進める」と明言。

### 条例の改正も

そして、この6月議会に育成センター条例の改正が提案されます。改正案は、「市長が指定する育成センターについて、春季、夏季又は冬季の学校の休業日のうち、市長が指定する期間」4年生を保育する、というもの。

今年モデル実施する鳴尾育成センターでは、1、3年生と混合で、西宮浜では4年生のみ別クラスで実施する予定とのこと。保育内容などは、各指定管理者が運営委員会と協議していくとのことでした。この前進の一步を大事に、施設の問題など困難な課題はありますが、全センターでの通年受け入れをめざしてがんばります。

## 新議会始まる！

6月11日より41人の議員による新議会が始まりました。政策や理念がおおむね共通する議員で結成する「会派」も届けられ、次の8会派でスタートしました。

**政新会（9人）** 大石、上谷、川村、坂上、篠原、田中、中川、やの、吉井

**公明党（8人）** 大川原、大原、竹尾、町田、松山、八代、山口、山田

**日本共産党（6人）** 上田、佐藤、庄本、杉山、野口、まつお

**蒼士会（5人）** 菅野、草加、澁谷、はまぐち、八木

**市民クラブ改革（4人）** 岩下、河崎、中尾、花岡

**むの会（3人）** ざこ、西田、長谷川

**すべての西宮市民（3人）** 一色、村上、よつや

**維新の党（3人）** 岸、福井、わたなべ